



チャレンジシート① 学ぶ

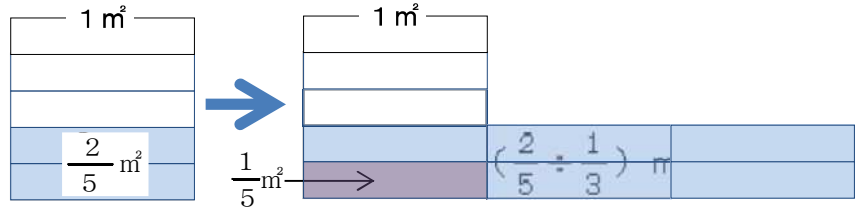
学習日 年 月 日

単 元	年 組 番
6年「分数÷分数」	氏名

分数をかける計算の意味

$\frac{2}{5}m^2$ のかべを $\frac{1}{3}dL$ でぬれるペンキがあります。1 dL では何 m^2 ぬれますか。

式 $\frac{2}{5} \div \frac{1}{3}$



計算の仕方は・・・

わられる数とわる数に3をかけて、
わる数を1にすると、

$$\frac{2}{5} \div \frac{1}{3} = \left(\frac{2}{5} \times 3\right) \div \left(\frac{1}{3} \times 3\right)$$

$$= \left(\frac{2}{5} \times 3\right) \div 1$$

$$= \frac{2}{5} \times 3$$

$$= \frac{6}{5}$$

$$\frac{6}{5} m^2$$

わり算は、わられる数とわる数に同じ数をかけても答えは同じでしたね。



1 dL は $\frac{1}{3}dL$ の3倍だから、

$$\frac{2}{5} \div \frac{1}{3} = \frac{2}{5} \times 3 = \frac{6}{5} m^2$$

1は $\frac{1}{3}$ の3倍と考えると、整数をかける計算になります。



分数のわり算では、わる数の逆数をかけます。

$$\frac{\triangle}{\square} \div \frac{\diamond}{\circ} = \frac{\triangle \times \circ}{\square \times \diamond}$$

わり算をかけ算に

整数や小数のわり算は、分数のかけ算になおすことができます。

$$7 \div 3 = 7 \div \frac{3}{1} = 7 \times \frac{1}{3}$$

$$7 \div 0.3 = 7 \div \frac{3}{10} = 7 \times \frac{10}{3}$$

商の大きさは、小数のときと同じで、わる数 >1 のとき、商 $<$ わられる数
わる数 <1 のとき、商 $>$ わられる数
が成り立ちます。





チャレンジシート① 学ぶ

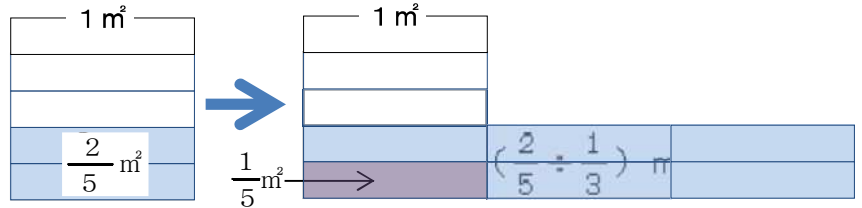
学習日 年 月 日

単 元	年 組 番
6年「分数÷分数」	氏名

分数をかける計算の意味

$\frac{2}{5}m^2$ のかべを $\frac{1}{3}dL$ でぬれるペンキがあります。1 dL では何 m^2 ぬれますか。

式 $\frac{2}{5} \div \frac{1}{3}$



計算の仕方は・・・

わられる数とわる数に3をかけて、
わる数を1にすると、

$$\frac{2}{5} \div \frac{1}{3} = \left(\frac{2}{5} \times 3\right) \div \left(\frac{1}{3} \times 3\right)$$

$$= \left(\frac{2}{5} \times 3\right) \div 1$$

$$= \frac{2}{5} \times 3$$

$$= \frac{6}{5}$$

$$\frac{6}{5} m^2$$

わり算は、わられる数とわる数に同じ数をかけても答えは同じでしたね。



1 dL は $\frac{1}{3}dL$ の3倍だから、

$$\frac{2}{5} \div \frac{1}{3} = \frac{2}{5} \times 3 = \frac{6}{5} m^2$$

1は $\frac{1}{3}$ の3倍と考えると、整数をかける計算になります。



分数のわり算では、わる数の逆数をかけます。

$$\frac{\triangle}{\square} \div \frac{\diamond}{\circ} = \frac{\triangle \times \circ}{\square \times \diamond}$$

わり算をかけ算に

整数や小数のわり算は、分数のかけ算になおすことができます。

$$7 \div 3 = 7 \div \frac{3}{1} = 7 \times \frac{1}{3}$$

$$7 \div 0.3 = 7 \div \frac{3}{10} = 7 \times \frac{10}{3}$$

商の大きさは、小数のときと同じで、わる数 >1 のとき、商 $<$ わられる数
わる数 <1 のとき、商 $>$ わられる数
が成り立ちます。





チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単元	年 組 番	11問
6年「分数÷分数」	氏名	

1 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{2}{3} \div \frac{5}{8}$

答え

(2) $\frac{1}{4} \div \frac{2}{5}$

答え

(3) $\frac{9}{10} \div \frac{3}{7}$

答え

(4) $\frac{21}{100} \div \frac{14}{25}$

答え

(5) $3 \div \frac{2}{5}$

答え

(6) $\frac{6}{7} \div 8$

答え

(7) $2\frac{2}{7} \div \frac{4}{21}$

答え

(8) $1\frac{5}{6} \div 2\frac{4}{9}$

答え

2 $3\frac{1}{3}$ mのひもを $\frac{2}{3}$ mずつに切ると、何本できますか。

式

答え

3 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{3}{5} \times \frac{3}{4} \div \frac{5}{4}$

答え

(2) $0.3 \div \frac{9}{10} \times 3.6$

答え



チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単元	年 組 番	11問
6年「分数÷分数」	氏名	

1 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{2}{3} \div \frac{5}{8}$

答え

$\frac{16}{15}$

(2) $\frac{1}{4} \div \frac{2}{5}$

答え

$\frac{5}{8}$

(3) $\frac{9}{10} \div \frac{3}{7}$

答え

$\frac{21}{10}$

(4) $\frac{21}{100} \div \frac{14}{25}$

答え

$\frac{3}{8}$

(5) $3 \div \frac{2}{5}$

答え

$\frac{15}{2}$

(6) $\frac{6}{7} \div 8$

答え

$\frac{3}{28}$

(7) $2 \frac{2}{7} \div \frac{4}{21}$

答え

12

(8) $1 \frac{5}{6} \div 2 \frac{4}{9}$

答え

$\frac{3}{4}$

2 $3 \frac{1}{3}$ mのひもを $\frac{2}{3}$ mずつに切ると、何本できますか。

式 $3 \frac{1}{3} \div \frac{2}{3}$

答え

5本

3 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{3}{5} \times \frac{3}{4} \div \frac{5}{4}$

答え

$\frac{9}{25}$

(2) $0.3 \div \frac{9}{10} \times 3.6$

答え

$\frac{6}{5}$



チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	4 問
6 年「分数÷分数」	氏名	

1 次の計算をしましょう。

(1) $\left(\frac{1}{3} + \frac{1}{2}\right) \times \frac{6}{5}$

答え

(2) $\frac{1}{4} \times \frac{2}{7} + \frac{1}{3} \times \frac{2}{7}$

答え

2 機械で、30aの芝を50分でかりました。
1時間では、何aの芝をかることができますか。

式

答え

3 1日に4秒ずつ進む時計があります。この時計は何日で5分進みますか。
4秒を分の単位になおして計算しましょう。

式

答え



チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	4 問
6 年「分数÷分数」	氏名	

1 次の計算をしましょう。

(1) $\left(\frac{1}{3} + \frac{1}{2}\right) \times \frac{6}{5}$

答え

1

(2) $\frac{1}{4} \times \frac{2}{7} + \frac{1}{3} \times \frac{2}{7}$

答え

$\frac{1}{6}$

2 機械で、30aの芝を50分でかりました。
1時間では、何aの芝をかることができますか。

式 $50分 = \frac{5}{6}時間$

$30 \div \frac{5}{6} = 36$

答え

36a

3 1日に4秒ずつ進む時計があります。この時計は何日で5分進みますか。
4秒を分の単位になおして計算しましょう。

式 $4秒 = \frac{1}{15}分$

$5 \div \frac{1}{15} = 75$

答え

75日



チャレンジシート① 学ぶ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番
6年「小数や分数の計算のまとめ」	氏名

たし算・ひき算

$$2.3 + 4.5$$

0.1が何個あるかを考えると、
0.1が(23+45)個で、
6.8です。

位ごとに分けて考えると、
(2+4)+(0.3+0.5)=6.8



小数のたし算やひき算では、0.1や0.01が何個あるかを考えたり、位ごとに分けて考えたりして、整数と同じように計算します。

$$\frac{3}{5} + \frac{4}{5}$$

$\frac{1}{5}$ が何個あるかを考えると、 $\frac{1}{5}$ が(3+4)個で、 $\frac{7}{5}$ です。



分数のたし算やひき算では、分子が1の分数が何個あるかを考え、整数と同じように計算します。

小数、分数をかけること

$$80 \times 0.4$$

0.4は4の10分の1と考えて、
 $80 \times 4 \div 10 = 32$

0.4は0.1の4個分と考えて、
 $80 \div 10 \times 4 = 32$



小数をかける計算では、計算の意味から小数が整数になるように考えて計算します。

$$60 \times \frac{2}{3}$$

$\frac{2}{3}$ は2の $\frac{1}{3}$ と考えて、 $60 \times 2 \div 3 = 40$

$\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分と考えて、 $60 \div 3 \times 2 = 40$



分数をかける計算でも、計算の意味から分数が整数になるように考えて計算します。

小数、分数でわること

$$\begin{aligned} 60 \div 0.3 &= (60 \times 10) \div (0.3 \times 10) \\ &= 600 \div 3 \\ &= 200 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 60 \div \frac{1}{3} &= (60 \times 3) \div \left(\frac{1}{3} \times 3\right) \\ &= 180 \div 1 \\ &= 180 \end{aligned}$$



小数でわる計算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても答えが同じというきまりを使い、整数の計算にします。



分数でわる計算でも、わられる数とわる数に同じ数をかけても答えが同じというきまりを使い、整数の計算にします。



チャレンジシート① 学ぶ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番
6年「小数や分数の計算のまとめ」	氏名

たし算・ひき算

$$2.3 + 4.5$$

0.1が何個あるかを考えると、
0.1が(23+45)個で、
6.8です。

位ごとに分けて考えると、
(2+4)+(0.3+0.5)=6.8



小数のたし算やひき算では、0.1や0.01が何個あるかを考えたり、位ごとに分けて考えたりして、整数と同じように計算します。

$$\frac{3}{5} + \frac{4}{5}$$

$\frac{1}{5}$ が何個あるかを考えると、 $\frac{1}{5}$ が(3+4)個で、 $\frac{7}{5}$ です。



分数のたし算やひき算では、分子が1の分数が何個あるかを考え、整数と同じように計算します。

小数、分数をかけること

$$80 \times 0.4$$

0.4は4の10分の1と考えて、
 $80 \times 4 \div 10 = 32$

0.4は0.1の4個分と考えて、
 $80 \div 10 \times 4 = 32$



小数をかける計算では、計算の意味から小数が整数になるように考えて計算します。

$$60 \times \frac{2}{3}$$

$\frac{2}{3}$ は2の $\frac{1}{3}$ と考えて、 $60 \times 2 \div 3 = 40$

$\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分と考えて、 $60 \div 3 \times 2 = 40$



分数をかける計算でも、計算の意味から分数が整数になるように考えて計算します。

小数、分数でわること

$$\begin{aligned} 60 \div 0.3 &= (60 \times 10) \div (0.3 \times 10) \\ &= 600 \div 3 \\ &= 200 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 60 \div \frac{1}{3} &= (60 \times 3) \div \left(\frac{1}{3} \times 3\right) \\ &= 180 \div 1 \\ &= 180 \end{aligned}$$



小数でわる計算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても答えが同じというきまりを使い、整数の計算にします。



分数でわる計算でも、わられる数とわる数に同じ数をかけても答えが同じというきまりを使い、整数の計算にします。



チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	6問
6年「小数や分数の計算のまとめ」	氏名	

1 次の計算の仕方を説明しましょう。

(1) $24.5 + 6.31$ 答え

(2) $\frac{8}{9} - \frac{7}{9}$ 答え

(3) 0.4×0.05 答え

(4) $50 \times \frac{2}{5}$ 答え

(5) $40 \div 0.2$ 答え

(6) $60 \div \frac{3}{4}$ 答え



チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単元	年組番	6問
6年「小数や分数の計算のまとめ」	氏名	

1 次の計算の仕方を説明しましょう。

(1) $24.5 + 6.31$ 答え

① 0.01 が何個あるかを考えると、
 0.01 が $(2450 + 631)$ 個で
 30.81 です。
 ② 位ごとに分けて考えると、
 $20 + (4 + 6) + (0.5 + 0.3) + 0.01 = 30.81$

(2) $\frac{8}{9} - \frac{7}{9}$

答え

$\frac{1}{9}$ が何個あるかを考えると、
 $\frac{1}{9}$ が $(8 - 7)$ 個で、
 $\frac{1}{9}$ です。

(3) 0.4×0.05 答え

① 0.05 は 5 の 100 分の 1 と考えて、
 $0.4 \times 5 \div 100 = 0.02$
 ② 0.05 は 0.01 の 5 個分と考えると、
 $0.4 \div 100 \times 5 = 0.02$

(4) $50 \times \frac{2}{5}$

答え

① $\frac{2}{5}$ は 2 の $\frac{1}{5}$ と考えて、
 $50 \times 2 \div 5 = 20$
 ② $\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分と考えると、
 $50 \div 5 \times 2 = 20$

(5) $40 \div 0.2$

答え

$40 \div 0.2 = (40 \times 10) \div (0.2 \times 10)$
 $= 400 \div 2$
 $= 200$

(6) $60 \div \frac{3}{4}$

答え

$60 \div \frac{3}{4} = (60 \times 4) \div (\frac{3}{4} \times 4)$
 $= 240 \div 3$
 $= 80$



チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	3問
6年「小数や分数の計算のまとめ」	氏名	

- 1 山口県と福岡県を結ぶ関門トンネルの長さは約3.46kmで、そのうち陸の部分の長さは2.68kmです。
海底の部分の長さは約何kmですか。

式

答え

- 2 家庭での二酸化炭素排出量の $\frac{1}{3}$ は電気からで、エアコンの消費電力はその25%にあたります。

1年間の1世帯あたり二酸化炭素排出量が5100kgとすると、エアコンからの二酸化炭素排出量は何kgですか。

式

答え

- 3 たかしくんは800円の本を買いました。この本の値段は、雑誌の $\frac{4}{3}$ 倍です。
雑誌の値段は何円ですか。

式

答え



チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	
6年「小数や分数の計算のまとめ」	氏名	3問

1 山口県と福岡県を結ぶ関門トンネルの長さは約3.46kmで、そのうち陸の部分の長さは2.68kmです。

海底の部分の長さは約何kmですか。

$$\text{式 } 3.46 - 2.68 = 0.78$$

答え

約0.78km

2 家庭での二酸化炭素排出量の $\frac{1}{3}$ は電気からで、エアコンの消費電力はその

25%にあたります。

1年間の1世帯あたり二酸化炭素排出量が5100kgとすると、エアコンからの二酸化炭素排出量は何kgですか。

$$\text{式 } 5100 \times \frac{1}{3} \times 0.25 = 425$$

答え

425kg

3 たかしくんは800円の本を買いました。この本の値段は、雑誌の $\frac{4}{3}$ 倍です。

雑誌の値段は何円ですか。

$$\text{式 } 800 \div \frac{4}{3} = 600$$

答え

600円